大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２８年１２月２２日
No.３２

12／9　12／21　指導主事訪問

12月９日、及び21日は、今年度最後の指導主事訪問がありました。

９日は南教育事務所大石指導主事が来校され、全学級の授業を見ていただきました。

１年Ａ組は数学「比例と反比例」、１年Ｂ組は国語「グループディスカッションをしよう」、１年Ｆ組は技術「鋳造」、２年Ａ組は数学「三角形と四角

形」、２年Ｂ組は体育「器械運動」、３年Ａ組は理科「月と惑星の見え方」、３年Ｂ組は英語「Unit６ Striving for a Better World」の授業を見ていただきました。

大石先生は、本校の地域活性化の取組などに触れながら「生徒が明るく行動的で、エネルギーを放出できる望ましい姿が見られた。一人一人が考えをもって学び合う様子も窺えた。」と感想をいただきました。その上で、「子どもを受容する関係を大切としながらも、けじめをもって、公共性をもった授業づくり、公の場での会話等を意識して、社会で力を発揮できる生徒を育ててほしい。」とご指導をいただきました。大石指導主事には、自己指導能力の育成等の生徒指導の在り方について、丁寧にわかりやすくご指導をいただきました。ありがとうございました。

また、21日は、南教育事務所仙北出張所菅原指導主事、大曲支援学校栗谷川先生、大仙市教育委員会櫻田指導主事、大仙市教育委員会藤井教育アドバイザーが来校され、特別支援教育についてご指導をいただきました。

田中先生　フィンランドに行く！

12月11日から18日にかけて、本校田中教諭がフィンランドに研修として出かけました。

これは、「秋田＆フィンランドの美術教育交流展実行委員会」が主催するフィンランドの視察研修です。昨年、本校にフィンランドエスポー市立サールニラークソ中学校のクピアイネン先生が来校された交流の継続で、今回、田中教諭と秋田公立美術大学の尾澤先生がフィンランドに出向き、両国の美術教育や生徒作品の交流を行ってきました。

田中先生は、成田空港から直行便で約10時間かけてフィンランドに行き、クニンカーンティエ高校やサールニラークソ中学校を訪問、美術作品展を行ったり授業参観をしたりして交流を深めてきました。また、首都ヘルシンキでも、見聞を広げてきたそうです。美術の時間はもちろんのこと、様々な機会に、フィンランドや北欧の国々について、お土産話を聞かせてくれることと思います。楽しみにしましょう。

草彅杯バレーボール大会　善戦！

10・11日は、草彅杯バレーボール大会が仙北ふれあい文化体育館で行われ、本校も出場しました。

本校は第３試合で、大曲中学校と対戦しました。秋の大曲仙北中学校新人大会ベスト４のシード校大曲中学校を相手に、本校は切れのあるスパイク、変化するサーブ等、秋からの成長を窺わせるチーム力を見せました。しかし、さすがシード校、なかなかボールをコートに落とさないレシーブ力と、２年生部員の力強いサーブで得点を重ね、振り切られてしまいました。結果として大曲中は第３位でした。目標とするところは手の届く位置です。バレーボール部、もうワンステップアップ！　頑張れ！！

月曜の朝　ウサギも学びたい！？

いよいよ本格的な冬の到来を思わせる12月はじめの週末でした。

そのような月曜日の朝、本校階段下を見ると、なにやら動物の足跡がありました。足跡は、窓辺で逡巡した跡が多数あり踏み固められていましたが、その後は、思い切って飛んで立ち去った跡も見られました。

理科の岩谷先生曰く、「ウサギの思考過程が窺える足跡です。」

う～ん、西仙北中の噂を聞いたウサギが、自分も一緒に学びたいとやってきたが、入り口が分からず諦めて帰った跡でしょうか？　それとも、寒波到来に寒さを凌ぐ宿を借りにきた跡でしょうか？

「朋遠方より来たるあり、また楽しからずや」

2年佐藤さん　中学生サミットポスター制作

２年生佐藤凜さんが、大仙市中学生サミットのポスターを制作しました。これは、中学生サミット「こころふれあう　さわやか大仙」事業として毎年行われていますが、今年度は本校が事務局の一校となっており、ポスター制作の依頼に応え制作したものです。

中学生サミットでは「リサイクル」「エコ」「ボランティア」に重点を置いた「ＲＥＶＯプロジェクト」や「あいさつプロジェクト」、「いじめ撲滅プロジェクト」、「地域活性化プロジェクト」等を各学校において展開していますが、この事業を周知し推進していくことをねらいにポスターが制作され、市内各小・中学校及び各事業所や公共機関に掲示されます。

佐藤さんのポスターは、その趣旨を踏まえ、「大仙市の未来は私たちがつくる」と力強く描かれています。佐藤さん、すばらしいポスターの制作、お疲れ様でした。

なお、中学生サミットとして、来年１月12日には、第２回の中学生議会も予定されています。第１回では中学生の提案により市のマスコットキャラクター「まるびちゃん」が生まれた経緯もあります。発想豊かな中学生の提案に、皆さんが期待しています。本校からは生徒会長と副会長が参加予定です。

加藤兄弟　サッカークラブチームで活躍中！

本校２年生加藤聖也君と弟の１年生悠樹君は、サッカークラブチーム「ＦＣ角館セレジェスタジュニアユース」に所属して活躍中です。

チームは今年度、「高円宮杯Ｕ－１５サッカーリーグ２０１６秋田県スギッチリーグ」で競い合ったり、日本クラブユースサッカー選手権秋田県予選に出場したりしています。その中で、11月に男鹿市で行われ、14チームが参加した「新人戦トーナメント」では、見事ベスト４に進出したそうです。クラブ主宰者から戦績が届けられましたので、ご紹介しました。

様々な条件がある中で、打ち込むものをもつことは大事なことだと思います。加藤兄弟の今後の活躍に期待します。

3年生　租税教室　開催

14日は、３年生の社会科の授業として、大仙市大曲の税理士鈴木秀一先生を講師にお招きして、租税教室を行いました。

公民の授業として行った租税教室では、税の仕組みや種類について学びました。直接税と間接税、所得税や法人税、消費税などについてわかりやすく説明していただきました。また、もし税がなかったらどうなるか、税金の使途等から税の大切さについて考えるアニメも上映していただき、楽しくも生活や税についてをしっかり見つめる機会にもなった時間でした。一億円の札束や百万円の束をもって、その重さ等を実感した時間でもありました。

鈴木先生は、国税局にお勤めになった経験があり、国税調査による海外出張の経験なども話してくださいました。生徒からは、税理士の仕事内容や年収、税理士になるための勉強・資格、国の借金（国債）とその返済、税滞納者の差し押さえなどについて質問があり、鈴木先生から丁寧に説明していただきました。

最後に、先生からは、皆さんは多くの才能をもっています。その才能を生かすためにも基礎となる現在の勉強を頑張ってください。そして、将来たくさんの税金を納める人になってくださいと結ばれました。鈴木先生、貴重なお話をありがとうございました。

平成２８年も大変お世話になりました。
よい年をお迎えください。西仙北中職員一同